第13講　係助詞・間投助詞

PART1　係り結びの法則・意味

係助詞（ぞ・なむ・や・か・こそ・は・も）

★「係り結びの法則」

○ぞ・なむ・や・か→「　　」形

○こそ　　　　　→「　　」形

＊「結びの語」＝係助詞の上を確認→「　　」or「　　」の部分

その部分が複数の単語で構成されている場合は、品詞分解をして活用する「　　」の一単語のみ。

（例）これやわが求むる山ならむ。

〔例題一〕　傍線部の係助詞に対応する結びの語を抜き出し、その終止形を書け。

① さることやありし。

② ことば多からぬこそ、飽かず向かはまほしけれ。

③ 心なむまさりたりける。

④ 花こそ咲けれ。

問一　「『も』の字」とは何助詞か。最も適当なものを次の中から選べ。

ア　格助詞　　イ　間投助詞　　ウ　係助詞　　エ　接続助詞　　オ　副助詞

問二　「誘はれざりけるこそ、口惜し［A］」の空欄Aに入る最も適当な語を、次の中から選べ。

ア　からむ　　イ　らむ　　ウ　けれ　　エ　なむ　　オ　べし

★「意味」

○ぞ・なむ・こそ→「　　　・　　　」※訳出不要

○や・か→「　　　　」

※　後ろに答えが**有**＝「　　　」

　　　　〃　　　**無**＝「　　　」

※「　　　・　　　」＝**反語**が多い。

※「～　　　。」・「～　　　。」＝**反語**。（**和歌**で多用）

問三「仰せらるるぞ」の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

① ラ行下二段活用動詞の連体形＋強意の係助詞
② ラ行下二段活用動詞の連用形＋詠嘆の係助詞
③ ラ行四段活用動詞の連用形＋強調の係助詞
④ ラ行四段活用動詞の連体形＋禁止の終助詞
⑤ ラ行四段活用動詞の連用形＋断定の終助詞

問四「いづこの御いらへかはあらむ」の現代語訳として正しいものを、次の中から選べ。

1 どのように御返事申し上げようか
2 どなたに御返事したらよいか
3 もちろん御返事などあるわけがない
4 どうしてこんな御返事をなさるのだろう

〈Memo〉

第13講　PART1　確認問題

①　空欄Ａ・Ｂに入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

梅の花なむ咲き［Ａ］。
梅の花こそ咲き［Ｂ］。

ア　Ａ　けら　　Ｂ　けり
イ　Ａ　けり　　Ｂ　ける
ウ　Ａ　ける　　Ｂ　けれ
エ　Ａ　けれ　　Ｂ　けら

②　「忍びてぞいでたまふ。」の傍線部の活用形として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形
エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

③ 「をとこ、異心（ことごころ）ありて<u>かかるにやあらむ</u>と思ひうたがひて、…」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　このようであるのだろうか
イ　このようであるに違いない
ウ　このようであったとしたら
エ　このようであろうか、いや、ない

④ 「鳶（とび）のゐたらんは、<u>何かは苦しかるべき</u>。」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いつか苦になるだろう
イ　きっと苦になるに違いない
ウ　苦になるのだとしたら
エ　何が苦になろうか、いや、苦にならない

⑤ 「銀（しろかね）も金（くがね）も玉も何せむに勝（まさ）れる宝子に<u>及（し）かめやも</u>。」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　及ぶだろうか
イ　及ぶのは間違いない
ウ　及ばなかったとしても
エ　及ぶだろうか、いや、及ばない

第13講　PART1　解答

〔例題一〕①　し…き　②　まほしけれ…まほし　③　ける…けり　④　れ…り

問一　ウ

問二　ウ

問三　①

問四　3

第13講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 係助詞の種類によって「結びの語」を考える問題。係助詞「ぞ・なむ・や・か」は結びの部分が「連体形」、「こそ」は「已然形」となる。それぞれ結びの部分に当たる助動詞「けり」を、ふさわしい形にしたものを当てはめる。

② 係助詞の種類によって「結びの語の活用形」を考える問題。上の部分に係助詞「ぞ」があるので、係り結びの法則により、結びの語は連体形となる。

③ 係助詞「や・か」は「疑問（～か）」と「反語（～か、いや、～ない）」の二つの意味を持つ。文脈上での判断や、後ろに答えがあるものは「疑問」、ないものは「反語」となる、という基準などで見極める。ここでは、後ろが「と思ひうたがひて」と疑問に思っている事を表す文脈となっているので、「疑問」の意味での使用となる。

④ 「やは・かは」は、文脈からの判断にはなるが、「反語」として用いられることが多い。

⑤ 「～めや」・「～めやも」は主に和歌で多用され、「反語」として用いられる。推量の助動詞「む」の已然形「め」に、係助詞「や・やも」がついた形の語である。

〔解答〕

① ウ　② エ　③ ア　④ エ　⑤ エ